



令和5年度 京都市立桂徳小学校 学校経営方針



令和5年度 学校教育の重点

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

令和5年度 重視する視点

■子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。【小・中・小中学校(義務教育学校)】

1. 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める。
2. 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。
3. 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

全教職員で進める学校園づくり5つの柱

「いのち」～子どもの命を守り切る～
「よりそい」～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～
「つとめ」～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
「ひろがり」～カリキュラムマネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～
「つながり」～校種間連携・接続により子どもを支える～

学校教育目標

やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む子
～毎日わくわく、みんなが行きたい桂徳小～

育成を目指す資質・能力

- ・自分の考えや思いをもって、目標や課題解決に向かう「**探求力**」「**自己解決力**」
- ・お互いを認め尊重し合い、共に高まるとする「**自律力**」

校内研究

豊かに話し合うことで学びを深める子の育成

生徒指導

一人一人を大切にする
集団づくりの推進

人権教育

自分の大切さとともに
他の人の大切さを認める子

目指す子ども像	目指す教職員像	目指す学校像
<p>① んこうで明るい子 ② けんをもち、学び合う子 ③ もだちを大切にする子 ④ りかえし何度も挑戦する子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもを理解し、愛情をもって関わっていく教職員 ・自己研鑽に励み、お互いのワークライフバランスを尊重し助け合いながら、切磋琢磨し合う教職員 ・職責を意識し、主体的により高みを目指す教職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが毎日楽しく、前向きに活躍できる学校 ・地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校